

## 平成30年度 第5回 教育委員会議事録

### 1 開催日及び場所

平成30年8月27日（月） 午後1時30分から午後3時30分

山県市役所3階 303会議室

### 2 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 教育長の報告

日程第4 議第9号 平成29年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価について

日程第5 議第10号 山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

日程第6 報第1号 平成29年度山県市教育委員会決算の成果説明について

日程第7 その他

### 3 出席者

教育長 伊藤 正夫

教育長職務代理者 川田 八重子

委員 江崎 由里香

委員 大野 良輔

委員 千葉 純

事務局 学校教育課長 鬼頭 立城

生涯学習課長 土井 義弘

図書館・文化の里館長 山田 和哉

学校教育課 恩田 拓充 村瀬 光代 衣笠 みつ美

#### 4 会議次第

(午後1時30分 開会)

川田職務代理者 ただ今より、平成30年度第5回教育委員会を開催いたします。

日程第1、前回議事録の承認について。

事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 日程第1、前回の議事録の承認について。

委員の皆様には、前もって議事録を送付させていただいておりますので、要点のみ説明させていただきます。

資料ナンバー1をご覧ください。

平成30年度、第4回教育委員会を平成30年7月24日、火曜日、午前11時15分から午後0時15分まで、山県市役所3階、302会議室において開催いたしました。

出席者は、委員4名、教育長及び事務局6名でした。

会議は、前回議事録の承認、議事録署名者の指名があり、教育長から通学路におけるブロック塀の状況についてなど5点の報告がありました。

議事としまして、平成31年度使用小学校及び中学校用教科用図書の新採択についてなど2議案を審議のうえ決定いたしました。

以上でございます。

川田職務代理者 ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

ご質問が無いようですので、前回議事録の承認について、承認します。

川田職務代理者 続きまして、日程第2、議事録署名者の指名について、今回は、私となりますので、よろしく願いいたします。

川田職務代理者 続きまして、日程第3、教育長の報告について、伊藤教育長に報告を求めます。

教育長 それでは1点目ですが、夏休みの子供たちの状況についてご報告させていただきます。まず中体連についてですが、地区大会から県大会へ進んだものが、高富中は、ソフトテニス、卓球、水泳、柔道、陸上、相撲。美山中が、男子バレーボール、柔道。伊自良中が、水泳、剣道でした。東海大会へは高富中の柔道と卓球が進みまして、全国大会は種目によっては東海大会の結果に関わらず出場しますので、県大会で優勝した高富中の柔道の2名が全国大会に出場しました。それと県の交通安全子ども自転車大会に

今年は美山小が山県市の代表として出場しましたが、前年度の富岡小に続いて優勝し、全国大会に行きました。全国大会では33位という結果でした。美山小の場合は体育館で狭いので全体を通しての練習ができず、富岡小の体育館で練習したりするなど練習環境が良くなかったのですが、それでも優秀な成績をおさめることができ驚いています。また、中学生と市長が語る会が8月3日にあり、3中学校の代表者が、自分たちの考えたことなどを市長に伝えました。

2点目は、参加いただいた委員の方もみえますが、8月22日に朝鮮拉致被害者の蓮池薫さんを講師に招いて人権講演会を開催しまして、事務局の集計では600名ほどの方に参加いただきました。それで今後のために、お気づきになられたようなことがありましたら、教えていただきたいと思いますが、昨年までは、勤務時間の関係もありますので、昼間に教職員対象、夜に一般の方を対象に同じ講演を2回行っていました。今年は教職員の午前中の勤務を振り替えて、折衷案として午後6時からとしてあのような形で1回にして行いました。おかげでいつもより高い講師料の方をお呼びすることができました。今後も1回の方が良いのではないかという声もありますし、今までどおりの方が良いという声もあります。参加されてどのように感じられましたか。

大野委員           あれだけの参加者がいるというのは、それだけでも良いことだと思います。講師の方も2回同じことを話すより、1回の方が良いのではないですか。

江崎委員           1回に集中することで講師料が多く払って有名な方に来ていただけるのであれば、それも良いかと思います。

大野委員           主催は教育委員会なのですか。

教育長            いろいろな団体に関係しておりまして、昼の部というのは教職員の研修の一つとなりますし、夜の部は人権擁護委員や青少年育成市民会議なども関係してきます。

川田職務代理者   先生方は何人ぐらい参加されたのですか。

学校教育課長     150名くらいです。

教育長            今まで夜の部は200名に届かなかったので、教職員を除いても、今までより一般の参加者が多かったということになります。

千葉委員           私も参加予定で、急用で行けなくなってしまったのですが、今回は一般の方もよく知ってみえる講師の方でしたので、その面でも参加者が多かったのかと思います。

教育長               今回は、たまたま翌日に美濃市での講演が入ってしまっていて、美濃市と折半するような形でしたので、経費も低く抑えることができました。

川田職務代理者   講師のお話は実体験に基づくもので、とっても良いものでした。

教育長               今後については、いろいろなご意見を伺いながら検討していきたいと思っています。

                          それと3点目ですが、スタディ・ハビットにつきまして、お手元に資料をお配りしましたが、1学期の成果と保護者と子供たちに行いましたアンケートの結果などが載せてありますので、後ほど生涯学習課長から詳しく説明させていただきます。

                          報告は以上です。

川田職務代理者   教育長の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

                          ご質問が無いようですので、次にまいります。

                          日程第4、議第9号、平成29年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価についてを議題とします。

                          事務局に説明を求めます。

事務局（恩田）   それでは、資料ナンバー2をご覧ください。

                          議第9号、平成29年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価について。

                          平成29年度山県市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、別紙のとおり報告書を作成し、議会に提出するものとする。

                          平成30年8月27日提出、山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

                          別紙としまして、事前に送付させていただいております、平成29年度事務事業の点検評価結果報告書（案）をご用意ください。

                          これは日程の都合で、会議資料として事前に送付できるものが第2回の点検評価委員会の開催前のもとなっており、例年、教育委員会会議当日に、第2回の点検評価委員会の協議において変更となった部分のみをお渡しして差し替えをお願いし、会議資料としております。

ただ、本年は事前に送付しましたものから変更した箇所がございますので、そのまま会議資料といたします。

ただし、1ページの4行目に28年度とありますが、これは29年度の誤りですので、訂正をお願いいたします。

それでは、まず点検及び評価の概要について、担当の村瀬の方からご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

事務局（村瀬） 学校教育課の村瀬です。よろしくお願いいたします。

それでは、事務事業の点検及び評価の概要についてご説明いたします。

平成29年度事務事業の点検評価結果報告書（案）をご覧ください。

教育委員会は法に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について報告書を作成し、議会に報告しなければなりません。教育委員会の職務権限は1ページにありますとおりですが、点検、評価につきましては、2ページにありますように、山県市教育振興計画に示された項目について、毎年、前年度実施しました事務事業に対して、点検、評価を行います。山県市教育振興計画に示された21の主要施策、51の事業に対して、初めに事務局職員によりA、B、C、Dの4段階の評価を行い、その後、岐阜大学名誉教授の岩田先生を委員長とした10名の点検評価委員の方に2回にわたって協議いただき、意見をいただきました。この意見を要約したものは、53ページに記載してあります。なお、2ページ中段ほどの目標について、にありますように、事業を維持向上型事業と積上型事業の2つのタイプに分けており、振興計画の5年間を通し、同じ目標として向上を目指すものを維持向上型事業、計画的に毎年度目標を設定し、重点目標の達成を目指すものを積上型事業としております。9ページからの事務事業の執行状況点検評価シートの平成29年度の目標欄で、「・」が維持向上型事業、「◎」が積上型事業の目標となっております。3ページにありますように、教育委員会の活動状況については、2項目とも評価はAとなっております。事務事業の執行状況では、51項目についての評価結果は、A評価の順調に達成しているものが47項目で全体の92%、B評価のおおむね順調に達しているものが2項目で全体の4%、C評価は無しで、D評価の順調でないものが2項目で全体の4%です。ちなみに、これは前年度と同じ割合となっております。4ページから7ページは点検評価結果の一覧表となります。8ページは教育委員会の活動状況、点検評価シ

ートとなっております、9ページ以降が事務事業の執行状況、点検評価シートして各項目の詳細が記載してあります。以上でございます。

事務局（恩田） それでは引き続き、学校教育課長、生涯学習課長より重要なポイントについてご説明いたします。疑問の箇所などがあればご質問いただきたいと思います。それではまず、学校教育課長より学校教育の部分についてご説明いたします。

学校教育課長 9ページからが学校教育課でございます。評価はすべてAとなりました。特に平成28年度の課題を受け、29年度に新たに取組んだことを中心に説明させていただきます。

9ページの「わかる授業・心に響く教育」につきましては、市内一貫した実践を続け成果をあげてきております。特に32年度完全実施となる小学校外国語のスムーズな移行につきまして、指導計画の整備、小学校英語の学習支援員の予算確保、小中学校間の外国語教育の連携等の事業が進みました。

11ページの「学校管理訪問事業」につきましては、特に学校事務の効率化や教職員の勤務の適正化を図るため、これまでの山県市学校スリム化プロジェクトを巻き込んだ山県市立小中学校事務共同実施協議会を立ち上げて、市内共通の取組事項としてスリム化の徹底を図ることができました。

12ページの「教職員の各種人事交流による学校活性化事業」につきましては、29年度末の人事交流において、岐阜地区教育実習校への派遣や教職大学院特別支援教育夜間コースの合格等、今後の山県市教育の活性化のための人事交流や助成の施策等を実施することができました。

15ページの「地域とともにある学校の推進事業」につきましては、学校運営協議会長の会が開催され、教職員の働き方改革等について地域の役割を協議題に取り上げていただくということもありました。また、中学校区での運営協議会が立ち上がったことなど、学校運営に保護者や地域住民が学校運営する取組が軌道に乗ってきたことが成果でした。

17ページの「芸術・文化教育推進事業」につきましては、特に山県市美術館で行った子どもの市展では、941名の来館者があり、大変盛況でした。

19ページの「教育相談機能の充実事業」につきましては、様々な事情によりコスモス教室への希望はあっても、来所できない児童生徒のために、29年度の途中に高富分室を設置し、支援をすることができました。

23ページの「冷暖房設備整備事業」につきましては、市内全小中学校の普通教室及び一部特別教室のエアコン整備が完了できました。

25ページの「学習・情報センター機能をもつ図書館経営推進事業」につきましては、図書バーコード管理サービスを導入し、図書の管理や貸出の効率化と市内学校図書の共有化を図る取組が進みました。また、地域住民への図書室の開放の歩み出しが図れました。

26ページの「学習用ICT整備・活用事業」につきましては、職員室パソコンを最新環境に整備をしたり、学習プリントサービスが有効に活用されたりするなど実績がありました。

27ページの「学校保健「心と体の健康」推進事業」につきましては、29年度も虫歯本数一人当たり0.06本という全国から注目される実績を上げております。

28ページの「地産地消と食育推進事業」につきましては、学校給食の地場産物使用割合の数値目標30%を大きくクリアして、34.6%となっております。

30ページの「学校支援員等配置事業」、31ページの「教育・生活相談員配置事業」につきましては、特に複式学級のある小学校に複数配置できたことや小学校外国語に関わる学習支援員の配置につきまして6名の予算確保ができました。

32ページの「あんしんネットによる登下校等安全対策事業」につきましては、651件と使用頻度、内容とともに有効に活用されております。

34ページの「いじめ防止対策推進事業」につきましては、29年度の全学校「いじめ防止基本方針」を見直し、小さなトラブルも見逃さない姿勢と解消に向けてチームで対応する学校体制をさらに強化する取組を進めることができました。

以上、学校教育にかかわる施策の新たな内容を中心に説明いたしました。

事務局（恩田） 続いて、生涯学習課長よりご説明いたします。

生涯学習課長 生涯学習所管は35ページから52ページまでで、項目としましては20項目ございますが、A評価が16項目、B評価、D評価がそれぞれ2項目あります。

それでは、要点のみ順次ご説明いたします。

36ページの「放課後子ども総合プラン推進事業」ですが、放課後子ども教室と子どもの居場所づくりを実績欄に記載してありますとおりの箇所数と回数で開催いたしました。ちなみに30年度からは全学校において実施しているところでございます。

40ページの「公民館活性化事業」ですが、B評価のおおむね順調に達成しているものとなります。音響設備、トイレの改修を進めていますが年次計画に比べて多少遅れている部分がありまして、B評価としています。

41ページから44ページまではスポーツ関係となりますが、こちらは順調に達成できているとして、A評価としています。

45ページからが文化関係となりますが、いずれもA評価としています。

50ページの「青少年の海外派遣事業」と「国際交流員受入事業」につきましては、D評価としていますが、これは28年度からそれまでの方法では事業が実施できない状態になりまして、昨年度も実施できませんでした。この2事業に関しては、国際理解教育の推進の中で方法を変えて実施していくことを検討中です。

52ページの「社会人権教育推進事業」ですが、こちらはB評価としています。先ほどの教育長の報告にありましたように今年度は講演会でしたが、昨年度は映画上映会を実施しまして、参加者が180名でした。参加者が少ないことと方法をもう少し工夫する必要があるということで、B評価としました。

生涯学習に関しては、以上でございます。

事務局（恩田） 事務局からの説明は以上でございます。

川田職務代理者 ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

江崎委員 23ページの冷暖房設備整備ですが、今年の猛暑の前に普通教室のエアコンの整備が完了したというのは非常に良かったと思いますが、特別教室についてはどのような状況でしょうか。



学校教育課長 各学校の、どの特別教室にエアコンが設置できていないかは把握しておりますので、今後、国や県の補助金等を利用するなど、計画を立てて整備していきたいと思います。

江崎委員 火を使う調理実習室とか、特に暑くなるような教室を優先的に整備していただければと思います。それと19ページの適応指導教室のコスモスですが、新たに設置した高富分室に通っている児童・生徒は何名ですか。

学校教育課長 希望している方は3～4名いますが、今、実際に通っているのは2名です。

江崎委員 21ページの多目的トイレの整備が完了した屋内運動場とは、体育館のことですか。

学校教育課長 はい、その通りです。校舎、体育館を含めて全体的なトイレの洋式化は75%まで進んでいますが、さらに多目的トイレの整備を進めるよう計画しております。

大野委員 23ページの冷暖房設備整備ですが、学校によって工事完了がバラバラであったため、設置できた学校でも他の学校の工事が完了するまで使用できなかったという話を聞きましたが、実際のところはどうでしたか。

学校教育課長 設置後に正常に動くかどうかをテストしますので、検査前であってもテスト期間の使用ということで、各学校とも設置次第、必要な時には順次使用しましたので、そのようなことはありませんでした。

教育長 使用に関するマニュアルはエアコン設置の計画ができた段階で保健委員会の方で作成して、各学校に示してありましたので、それに従って使用したということです。

大野委員 消費電力はどのような状況でしょうか。

学校教育課長 別紙資料にLED化によって削減できる分でエアコン設置による増加分をまかなえるという推計がありますが、今年に関しては冷房の使用が多いので、かなりの使用料になるかと思います。

大野委員 年によってかなり変わる場合に、予算の方は対応できるのですか。

事務局（恩田） 予算は光熱水費として近年の実績から枠で組んであるので、その中でなら対応できますが、実際にかかる経費がどれくらいになるかは実績が出ないとわかりませんので、年度末近くになってから対応することになるかと思います。

大野委員 表記の問題ですが、18ページで「力のある教師や支援員等を育てる教職員研修推進事業」とありますが、力のあるという表現は、逆に力のないということもありうる訳で、ある、ないで選別することになり、教育に関わることとして好ましくない表現だと思われま。

学校教育課長 表記を変えることはできませんので、力量のある先生を育てるという意味に捉えていただければと思います。

事務局（恩田） 教育振興計画にある項目名なので、教育振興計画自体を見直す必要があります。計画の期間は31年度までで、今のところ現在の計画を見直す予定はございませんが、来年度には新しい教育振興計画を策定することになりますので、その際にはご意見をいただいて検討することになるかと思われま。

大野委員 25ページの読書活動の充実で読書指導員による積極的な働きかけにより、読書する児童生徒を増加させることができたとありますが、具体的な数値はありますか。

学校教育課長 今手持ちにはありませんが、毎学期ごとに読書指導員から集計したものを報告してもらっていますので、結果の数値はございます。特に図書バーコードシステムが本格稼働している学校は、非常に増えています。

大野委員 28ページの地産地消で地場産物の割合が34.6%となっていますが、これはほとんど野菜、果樹と考えて良いですか。

学校教育課長 加工食品ではないと思われまので、そうだと思います。

大野委員 29ページの調理場整備推進でウェットシステムの調理場については、ドライ運用を徹底し、とありますが、システムそのものをドライに変えるには大きな経費がかかりますから、まだそこまでは至っていない、また、調理場機器の一部更新により衛生面と安全面の確保を図っているということではよいですか。

学校教育課長 はい、その通りです。

大野委員 21ページの多目的トイレの整備についてですが、年配者は便座に座るのに抵抗があるということで、逆に和式の方が良いというのはないですか。

教育長 年配の方からも洋式にしてくれという要望が多いです。ヒザが曲がらないとか腰が悪いとかで洋式の方が楽だと言われま。年配の方の利用が多い、みやまジョイフル倶楽部も要望により洋式としました。

大野委員 32ページのあんしんネットとは、どのようなものですか。

学校教育課長 山県市の防災ネットワークシステムに乗った形で運用しているもので、教育委員会としては一部サーバーの利用料のみでほとんど経費は発生していません。市内一斉や各学校一斉、クラスごとなどいろいろな方法で配信できます。

大野委員 システムの構築は学校ごとで行っているのですか。

学校教育課長 全て事務局学校教育課の方で行っています。

千葉委員 毎年案内がありますから、それを見て保護者の方から登録しますが、それを振り分けて管理されているのではないですか。

学校教育課長 はい、それで学校からPTAや学校運営協議会などのグループを作って欲しいというような要望があれば、こちらで作ることも可能です。

千葉委員 そのあんしんネットのことで、いろいろな連絡が配信されて助かっていますが、少し気になるのは、時々配信されます不審者情報についてタイムラグがありまして、前日の情報が配信されることが多いです。教育委員会へ情報が届くのが遅かったのではあると思いますが、できればもう少し早くお知らせいただければ、下校時間に気をつけたりすることができるのではないかと思います。

学校教育課長 言われるとおり教育委員会へ届くのに時間がかかっております。こちらとしては、情報が届き次第できるだけ迅速に対応しております。情報も山県警察署からだけではなくて、いろいろなところを巡ってから届くということもあるので、そのような場合はどうしてもタイムラグが生じてしまいます。

千葉委員 事情は理解しますので、できる限り早くということをお願いします。それと50ページの青少年の海外派遣ですが、いま高校3年生の子がいるのですが、その子が以前から高校生になったら海外派遣に応募したいと思っていて、高校に入った年にずっと広報紙に募集案内が出るのを待っていたのですが、全然出ないので問い合わせたら今年は中止ということがわかって、それから3年間中止になっているということですが、中止になった経緯はどのようなことですか。

教育長 27年度までは、合併以前の伊自良村とフローレンス市の交流を引き継ぐ形で海外派遣や国際交流員の受入などが行われてきたのですが、フローレンス市側の窓口が市などの行政組織ではなく、個人的な人材に頼っていて、28年度以降はそのような人がいなくなりましたので、フローレ

ンス市側が対応できなくなり事業が中止となりました。それで行政組織同士での交流とできないかなど、いろいろと対応しましたが、うまくいきませんでしたので、現在は事業を根本的に見直していかなければいけないような状況です。全く新しい方法での国際理解教育となりますので、どのようなものが良いかもなかなか決まらない状況でして、新規の事業となりますので予算的にも厳しいものとなります。

千葉委員 フローレンス市ありきでの事業であったため、あちらの事情で難しくなったということですね。小学校の英語教育も始まりますし、国際的な人材の育成に力をいれていくという流れの中で国際交流の事業が縮小されているのを残念に思いましたのでお聞きしました。

川田職務代理者 21ページの浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内にある学校が避難確保計画を作成し、という中で、美山中や美山小は作成していないようですが。

学校教育課長 美山中、美山小とも両区域外ですので作成しておりませんが、状況によって計画が必要であると思われる場合は、作成を検討していきたいと思えます。

川田職務代理者 ほかにご意見などございませんでしょうか。

それでは、ご意見がないようですので、お諮りいたします。

議第9号、平成29年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価について、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

川田職務代理者 異議なしと認めまして、平成29年度山県市教育委員会事務事業の点検及び評価について、決定します。

続きまして、日程第5、議10号、山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱についてを議題とします。

事務局に説明を求めます。

事務局(恩田) それでは、資料ナンバー3をご覧ください。

議第10号、山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について。

山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱を別紙のとおり定めるものとする。

平成30年8月27日提出、山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

今回の改正の1点目は、近ごろの動向として個人情報取扱いをより慎重にする傾向にあり、それに沿っていくため申請者の個人情報を取得することについての同意を他の書類とは別に、独立したものとして取得するため、新たに同意書の様式を定めるものです。2点目は、所得階層区分ごとの国庫補助金限度額が改正されたことに伴い、市の補助限度額を改正するものです。以上でございます。

川田職務代理者 ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

川田職務代理者 ご意見などございませんでしょうか。

それでは、ご意見がないようですので、お諮りいたします。

議第10号、山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

川田職務代理者 異議なしと認めまして、山県市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について、決定します。

続きまして、日程第6、報第1号、平成29年度山県市教育委員会決算の成果説明についてを議題とします。

事務局に説明を求めます。

事務局(恩田) それでは、資料ナンバー4をご覧ください。

報第1号、平成29年度山県市教育委員会決算の成果説明について。

平成29年度山県市教育委員会の主要な施策の成果及び実績について、別紙のとおり報告する。

平成30年8月27日提出、山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

別紙としまして、事前に送付させていただいております平成29年度教育委員会決算の成果説明書をご覧ください。

この成果説明書は、事業ごとに事業の概要と成果、事業費や財源内訳などを表した説明書になります。目次ページの下の方に教育費の歳出決算額前年度比較表があります。教育費の合計額では29年度が約12億4,844万円で、前年度は約9億9,318万円でしたので、約2億5,525万円の増額となりました。これは、29年度に小学校費、中学校費で空調整備工事、LED工事など大きな工事を実施したことにより、約2億9,700万円の増額となり、逆に社会教育費は28年度に図書館の空調

改修工事があり、29年度は大きな工事はありませんでしたので約2,200万円の減、保健体育費は同じく28年度に総合運動場テニスコートの人工芝張替があり、これが29年度の工事に比べて金額が大きかったため、約2,100万円の減となったことによるものです。

それでは、細かな部分は各課長から説明いたします。まず学校教育課に係わる主な事業について、学校教育課長よりご説明申し上げます。

学校教育課長

学校教育課関係の事業の成果説明及び実績は、168ページから195ページまでございます。多くの通常業務の増減額につきましては、児童生徒などの人数や諸経費、回数の差などでありまして、28年度と29年度において大きな違いはございません。今回は、29年度に行った特色ある事業の実績につきまして抜粋して説明をさせていただきます。

まず171ページ下段の「大学院教育学研究科履修助成金」につきましては、予算は確保してありましたが、29年度は候補者をあげ、試験に合格するまでとなり、授業料の納付は本年度になってからしかできなかったため、支出ゼロとなりました。今年は授業料の一部につきまして確実に助成ができるようになっております。

178ページ上段の「高効率型照明整備工事」、LED化工事ですが、これにつきましては、新規事業として、すべての学校の教室及びランチルーム、屋内運動場を、地方債等を活用して整備できました。照度が足りない教室がなくなるとともに電気代のコスト削減につながっております。

同じページ中段の「伊自良北小学校屋上防水改修工事」につきましては、29年9月17日の台風18号の接近に伴い、屋上の防水シートが強風で剥がれ落ちる被害を受けましたので、それに緊急に対応した工事業業となりました。

179ページ下段の「普通教室等空調設備整備工事」につきましては、すべての普通教室及び一部の特別教室にエアコンが設置できました。国の補助金や地方債を有効に活用し、快適な環境が整いました。

180ページ下段の「教職員用パソコン更新」につきましては、28年度と29年度にかけて、更新時期となった職員用パソコンの更新をしました。同じパソコンを導入しましたが、年度によって事業費に差がありますのは、整備した学校数やパソコンの数の違いからです。

同じように189ページの中学校における高効率型照明整備工事や空調整備工事、190ページ下段のパソコン更新も小学校同様の事業成果がございました。

192ページ下段の「山高未来プロジェクト負担金」につきましては、山県高等学校の存続に向けて、地域と高校が学校の活性化を目指して山高未来プロジェクトを設置し、協議と対策を考えてきました。その中でも特に単位制の導入のための物的支援に本事業が有効に活用されました。

以上、29年度の特徴ある事業につきまして説明をいたしました。

事務局（恩田） 続いて、社会教育費及び保健体育費について、生涯学習課長よりご説明いたします。

生涯学習課長 生涯学習関係は195ページの下段以降となりますので、順次ポイントのみご説明させていただきますが、先ほどの説明にありましたように大きな減額となりましたのは、ハード事業によるものでございます。

それではまず197ページ中段の「地区公民館管理事業」ですが、財源としての地方債は過疎対策事業債で、280万円を充てまして事業を実施しました。

199ページ下段の「地区公民館改修事業等」につきましては、トイレやエアコンなどハード部分の改修ですが、28年度に比べ約460万円の減額となりましたが、28年度は各公民館のトイレ改修が大きな工事としてあり、その差額が減額となりました。

200ページ上段の「中央公民館改修事業等」ですが、2,200万円ほどの事業費の内、過疎対策事業債を2,100万円充てまして事業を実施しました。一番大きなものは美山中央公民館の音響設備改修工事の約1,800万円であります。

206ページ上段の「図書館改修事業」ですが、主なものはLEDの取替工事で約140万円ですが、28年度は空調改修工事などで1,800万円ほどの工事を行いましたので、約1,600万円の減額となりました。

208ページの「花咲きホール公演事業」は、前年度に比べ約220万円の減額となっております。これは事業の減もありますが、28年度の事業費には27年度からの繰越分も含まれておりますので、そのことが主な要因であります。

215ページの「全国大会等出場者応援金事業」ですが、こちらも28年度の事業費には27年度からの繰越分も含まれておりますので、差額が大きくなっています。件数としては29年度の方が増えておりますが、減額となっているのはそのことによるものと出場する大会が国か県で金額が違っていますので、件数とは比例しておりません。

219ページ下段の「伊自良総合運動公園テニスコート人工芝改修事業」は、単年度の新規事業ですが、事業費が約1,000万円で地方債は合併特例債を充てて、事業を行いました。それと220ページの「富波運動場天然芝新設事業」ですが、これも単年度の新規事業で、まだ使用できる状態まで至っていませんが、約350万円の事業費で、地方債は合併特例債を充てています。

簡単ですが、生涯学習関係は以上でございます。

事務局（恩田） 事務局からの説明は以上でございます。

川田職務代理者 ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

江崎委員 191ページ上段の「中学校部活動事業」ですが、事業費が減少したのは外部指導者のなり手がなくなったとか合同チームになって指導者が必要なくなったとかで、人数が減ったことによるものですか。

教育長 この事業費については、それまで学校によっては大会の参加費とか部の備品とかいろいろなものに充てているところもありましたので、28年度に統一して学校が正式に委嘱した外部指導者の謝金のみにするということでしたが、その外部指導者の登録の方法が学校によってばらつきがあり、29年度に中学校3校で話し合っって人数を整理しましたので、そのことによる減額と思われます。

学校教育課長 外部指導者の数は充実していると思っております、市内で54名の方がみえます。その方たちに指導していただいた実績で謝金を支払っています。備品など自分たちで使う物は自分たちで負担してもらい、この事業費は指導者のために使うということに切り替えております。

千葉委員 指導者が54名いて100万円も使っていないということは、指導者の方はほとんどボランティアでやっただけだということかと思ひますので、1人あたりの金額をもう少し考えていただけないでしょうか。



教育長           これは、いわゆる部活動指導員のための謝金ではなく、ボランティアでやっただいていてる社会人指導者のためのものですが、今まで学校によって違ったりしてしまして、どこで揃えるかというのを話し合っています。その中でもっと手厚くできないかなども検討して行くことになるかと思ひます。

千葉委員           指導者の方はその競技が好きであったり、子供が好きであったりでお手厚いしていただひていると思ひますが、その善意に甘えすぎるのも良くなひかと思ひますので、考へていただひたいと思ひます。

                    それで別のことですが、168ページの「私立幼稚園就園奨励費補助金」について、2,000万円ほどの事業費の内、国の補助金が600万円くらいで、市の負担が1,400万円くらいということですが、これは一般的な割合なのか、それとも山口市は他に比べて手厚いのでしょうか。

事務局（村瀬）    国の制度に従っておりますので、ほぼ一般的な割合になるかと思ひます。

教育長           山口市として特徴的なのは、次の169ページの「幼稚園保育料助成金」になるかと思ひます。国の方の対象に漏れた方をこちらで助成することで、ほとんどの方の保育料の負担を実質無料にするというもので、その面では、山口市は子育てに手厚いということになるかと思ひます。

大野委員           今の「幼稚園保育料助成金」について、28年度に比べてかなり減額になってしまひますが、なぜですか。

事務局（恩田）    減額になってる要因につきましては、この事業は、まちづくり振興券での助成で、振興券の特性上その支出が翌年度に繰り越すというのがありました。28年度に方法を変えまして他の振興券事業とともにその年度で一旦基金の方に支出し、実際の支払は基金の方から行うことにしました。そのため、28年度は前年度の繰り越分とあわせてほぼ2年分の事業費が支出されたことになっているため、見た目上で29年度は大きな減額となっています。

大野委員           同じページの「教育ローン利子補給金」ですが、1件あたりは、事業費を申請件数で割った平均値と同じくらいですか。

事務局（恩田）    教育ローンを借りた額の利子に対する補給金ですので、当然借入金額の多少によって差があります。対象の借入限度額は350万円ですが、限度額いっぱいの方もみえますし、150万円ほどの方もみえますので、申請者によってばらつきはあります。

大野委員 次の170ページの「生活相談員報酬」の相談件数の実績ですが、電話が100件ほど減って、メールが大幅に増えています、その原因というのは何かありますか。

学校教育課長 まずは児童生徒の数によることとメールによる相談受付の周知が図られたことによるものかと思います。

千葉委員 関連で質問ですが、適応指導教室のコスモスに通われるのは、不登校の子なのか、それとも発達障がいの子なのか。

学校教育課長 不登校の子が、通常の学校生活に復帰できるようにするための教室です。

川田職務代理者 コスモスの高富分室については、ここには出てこないのですか。

学校教育課長 まとめてありますので、ここには出ておりません。括弧数字で記載するなどしたらよかったかもしれません。

大野委員 181ページの「小学校教職員用パソコン更新」の写真ですが、ディスプレイが4:3のようですが、今は16:9が一般的と思いますが、使用するソフトなどの関係であえてこのディスプレイとしているのですか。また、そのことを強調するためにこの写真を使っているのですか。

事務局（恩田） 特にこのディスプレイでなければいけないということはありません。既存のものとのバランスや予算額などの関係でこの仕様としています。写真については、文字ばかりではということで手元にある検査写真等から適当というわけではないですが抜粋して掲載していますので、特に意図があるわけではありません。

大野委員 185ページの「小学校給食調理備品購入」で、スチームコンベクションを購入されましたが、これは使いこなすことが難しいと思いますが、使用のための講習はかなりされたのでしょうか。

事務局（村瀬） 購入時に業者から詳しく説明を受けています。

川田職務代理者 ほかにご意見などございませんでしょうか。

それでは、ご質問が無いようですので、報第1号、平成29年度山県市教育委員会決算の成果説明については、これで終了いたします。

続きまして、日程第7、その他について、何かございますか。

生涯学習課長 それでは私の方からスタディ・ハビットの利用状況についてご説明いたします。お手元の資料は最新の7月31日現在のものとなりますが、以前のものと大きく変わっておりませんが、2学期の教室のあり方にありますように、保護者と子供を対象としたアンケートを実施しまして、その結果

を定期的に発行しております「スタディ・ハビット教室だより」に掲載しております。アンケートでは、おおむね良かったとの回答を得ていますが、個人の学力の差についての対応ということが、今後の課題としてあがっています。1学期を終えた段階で2学期に向けて、また3学期に向けてということで、実施していく中で改良できる点は改良していくということで実施しております。資料については、また詳しくお読みいただければと思います。簡単ですが説明は以上とさせていただきます。

川田職務代理者 今の事務局からの説明につきまして、何かございますか。

ご質問等ございませんか。

それでは、そのほかに、何かございますか。

それでは、何も無いようですので、以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたします。

これをもちまして、平成30年度第5回教育委員会を閉会いたします。

(午後3時30分閉会)

上記議事録は正当であることを認め署名します。

山県市教育委員会

教育長 伊藤 正夫

委員 川田 八重子